

近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本構想策定報告会

平成28年9月30日に「近鉄郡山駅周辺地区まちづくり基本構想策定報告会」を開催しました。当日は、ワークショップに参加いただいた方をはじめ、近鉄郡山駅周辺地区のまちづくりに関心のある、約70名にご参加いただきました。

今回は、この計画にご協力をいただいている近畿大学総合社会学部の久教授をコーディネーターとして、昨年、本市に移住されたミュージカル俳優のさけもとあきらさん、上田清大和郡山市長とでクロストークをしていただきました。そのトークの内容をいくつか紹介させていただきます。

クロストーク ～近鉄郡山駅周辺のまちづくりについて～

ートークの内容をいくつか紹介しますー

1. 近鉄郡山駅周辺の過去・現在

- ・かつての城下町では、近鉄郡山駅の東側には町人街が広がり、西側には武家屋敷が広がっていた。そのまちの構造が現在のまちの構造につながっている
- ・ここ数年、民間主催のイベントなど、地域の取組が活発となり、まちの雰囲気が変わってきた

2. 近鉄郡山駅周辺の未来への想い

- ・地域が元気でユニークな人が集まるまちにしたい
- ・まちに誇りをもってアピールできればまちが元気になり人も住んでくれるようになる
- ・全国で300弱しかない城下町の特徴を活用しながら、現在の暮らしにも活かし、より発展させたまちづくりを目指したい
- ・再開発事業だけでなく、まちには今の「ごちゃごちゃ感」も必要ではないか

3. これからの進め方

- ・今の基本構想、次の基本計画でしっかりと議論し、皆さんに応援していただけるような良い雰囲気をつくっていききたい
- ・基本計画でも皆さんに呼びかけるので、議論の輪の中に入れてもらいたい
- ・平成29年3月に郡山城天守台の展望施設が完成する。眺望も良く今後これが大和郡山のランドマークになる。単なる観光施設ではなく、皆さまからのアイデアをもらい、文化財としてどのように活用できるのかを検討していきたい

久教授によるまとめ

『まちづくりには、マイナス思考ではなく皆がプラス思考になることが大切。自分で出来ないことも誰かが出来るというように、人と人とのつながりが良いまちづくりになると思う。』

今までのまちづくりではお金でまちを元気にしてきた。金で造ったものは老朽化し、また金が必要となる。一方、人を元気にすると、人は成長をするし、まちづくりも長続きする。インフラの整備も必要で、ここは県や市で役割分担をもって整備する。市民の皆さまには、知恵を出していただく等、行政と民間で一緒になってまちづくりを進められたら良いと思う。』

